

外国の人と共に暮らそう

中学校

ねらい 日本で暮らす外国籍の子どもの気持ちを理解する。
外国の人と共に暮らすとはどういうことか考える。

気づく

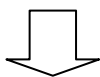
滋賀県にはどんな国の人暮らしているのかな

現在、滋賀県で暮らしている外国の人について話し合う。

留意点

- ・それまで出会いがなかったり、興味がなかったりする生徒にとって、感動的な出会いとなるよう留意する。

滋賀県で暮らす外国の人たちに
関わる写真や新聞記事



広げる・深める

外国の人に聞いてみよう

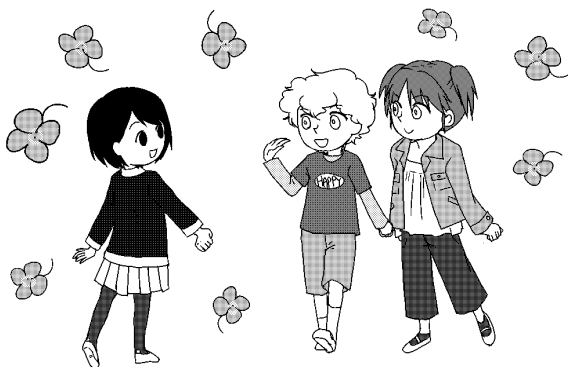
地域に住んでいる外国の人から話を聞く。

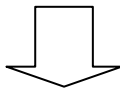
外国の人と共に暮らすよりよい社会をつくるために、今の自分たちにできることは何か考える。

留意点

- ・事前に聞きたいことを準備しておき、質疑応答を行うことで理解を深める。
- ・在籍する外国籍の子どもの人権が守られるよう配慮する。

直接話を聞くことが難しい場合、
事前にインタビューを撮影しておくことも考えられる。





計画する・実践する

プランA

「施設等を訪問しよう」

計画を立て、訪問に行く。

- ・外国の品物を中心に扱っているお店や外国人学校に見学に行くことで、異文化体験を計画する。
- ・訪問する前に、学校の思いを伝えるなど十分な打ち合わせをする。
- ・「場所」だけでなく「人」との出会いがあるように計画する。
- ・買い物した材料で外国料理を作って味わうこともできる。その際、料理の講師を招き、交流の機会としても位置づける。
- ・可能であれば、ブラジル人学校等に1日入学することで、外国から来た生徒がわからない言葉の中で生活している気持ちを体験する。

プランC

「外国語のアナウンスを入れよう」

体育祭で外国語のアナウンスを入れる準備をする。
原稿をつくり、体育祭でアナウンスをする。

- ・生徒会への働きかけなど、子どもたちの手で全校的な共通理解を得られるよう支援する。
- ・原稿をつくる過程で、外国籍の子どもや保護者・地域に住んでいる外国の人とのふれあいを大切にする。
- ・アナウンスだけでなく、体育祭の種目にカポエイラなどを入れることも考えられる。
- ・体育祭だけでなく、他の行事や校内放送等で取り組むこともできる。

プランB

「聞いたお話を劇にしよう」

聞いた話を劇にする計画を立てる。
劇の脚本をつくり練習する。
人権集会等で劇の発表をする。

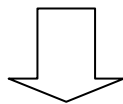
- ・聞いた話から感じたことを出し合いながら、伝えたいテーマを決める。
- ・テーマが伝わる構成になるよう、脚本づくりには十分な支援をする。
- ・演じることを通しての学びを大切にする。

プランD

「外国語の表示板を作ろう」

「語」の教室表示板を作る計画を立てる。
表示板を作成し設置する。

- ・外国籍の子どもたちが少しでも学校生活を楽しく過ごすための話し合いから始める。
- ・表示する言葉を決める際にも、外国の子どもや保護者・地域に住んでいる外国の人の意見を聞いて、ふれあいの機会とする。
- ・卒業記念制作等として取り組むこともできる。



教室表示板の例

振り返る

実践を振り返ろう

実践する中で感じたことを話し合う。
実践を通じて感じた、外国の人と共に暮らすために大切なことを話し合う。

グループ発表やポスターセッションなど、発表の方法を工夫する。
外国の人も参加している地域の行事を紹介する。